



発行

守山市民生委員児童委員協議会

編集：広報研修委員会

事務局：守山市社会福祉協議会

住所：守山市下之郷三丁目2番5号

民生委員・児童委員全員研修会



▲自治会による実践発表（千代、河西NT自治会）

平成30年12月14日、守山市民ホールにおいて本年2回目となる守山市民生委員児童委員協議会主催の全員研修会が2部構成で開催されました。

第1部は「ゲートキーパー」について、市すこやか生活課保健師から講話を受けました。「ゲートキーパー」とは、自殺の危険を示すサインに気づき、適切な対応（悩む人に気づき、声をかけ、話を傾聴して支援機関に繋ぎ、見守る）を図ることができる人のことで、「命の門番」とも位置付けられています。民生委員・児童委員は今後も日々の見守り活動を通じて地域の人々の「孤立・孤独」を防ぎ、「命の門番」でありたいです。



▲市すこやか生活課保健師による講演

第2部は地域の福祉力や共生社会の実現に向け、国が提唱する「我が事・丸ごと」の活動を既に実践中の2自治会をパネラーに、市社協の第1層生活支援コーディネーターが座長のもと進められました。まず、河西ニュータウン自治会では、65歳以上の要支援者を対象に「デイサービス」を週1回、約10年間続けておられます。毎回、お迎えに始まり、運動、その日の催し物、食事（調理のみ「ゆいの里」に依頼）の提供、送りまでをボランティアの力で企画運営されています。運営費は当事者とボランティアの会費のみで賄っておられます。要支援者の健康保持、自立を図りながら人の交流と居場所づくりも展開されており、まさに住民による包括的な地域づくりのお手本でした。続いて千代自治会では、「登下校時の見守り」の実践と「福祉部会」の活動でしたが、特徴的なのは各々の部会員の自立度の高さで活動を支えるボランティアはやらされている感は無く、自らの意思で参加しておられ、各々のボランティアの発掘育成を途切れる事無く繰り返されているとのことです。今後も高齢化が進む地域を安心・安全で住みやすくなる工夫が福祉力になり、各地域の特性にあった地域づくりが必須になると再考する研修でした。（山本なお栄 記）





守山学区



校园あいさつ運動

守山学区の校园あいさつ運動は、平成15年4月から始まり16年を過ぎようとしています。学区内の中学校（1校）、小学校（2校）、幼稚園（2園）、保育園（3園）、こども園（1園）であいさつ運動を毎月1回しています。4月の年度初めは、恥ずかしくて挨拶ができなかった子ども達も月を重ねるごとに笑顔で挨拶ができるようになってきています。各委員も担当の校园行事などに参加して、生徒・児童・園児との交流をはかっています。

民生委員・児童

吉身学区



西宮市「新総合事業」視察研修

共生型地域交流拠点事業「まちcaféなごみ」は、鳴尾東の地域住民が主体で運営するNPO法人なごみと、行政・社協・その他多くの地域団体が連携して、子どもから高齢者、障がいのある方など全ての住民が住み慣れたまちで暮らしていく魅力あるまちづくりを行なっています。つどい場力フェ、赤ちゃんサロン、なごみ体操、介護予防、なごみで晩ご飯、専門相談等が実施されています。

河西学区



県外研修(堺市立健康福祉プラザ)

今年度は、堺市立健康福祉プラザを県外研修先に選びました。この施設は行政機関では3ヶ所、健康センターとしては8センターが同居した一大福祉社会館です。私達の研修は、施設概要をビデオで研修し、会館内の各センターを二班に分けて見学、地下にはプールまで設置されているのには驚きました。また、個別のセンター研修では発達障害者支援センターを選び、意義深い県外研修でした。

速野学区



福祉作文

速野学区では例年『福祉作文の募集と表彰』を実施しています。生徒とお父さん、お母さん、祖父母と一緒に福祉について考える貴重な時間となることを願って、速野小学校に福祉作文の募集を依頼します。寄せられた作文は二段階の審査を経て優秀作を選び表彰し、さらに学区民のつどいで展示し誰でも読めるように、『速野の福祉』に優秀作を掲載して全戸配布しています。今後も「思いやりのある速野」を目指して継続していきたいと考えております。

委員活動紹介

小津学区



民児協だよりの発行

民児協だより発行が去年8月で第7号となりました。年2回の発行で、内容は赤ちゃん訪問から要介護者等の見守り活動、学区内の諸施設の訪問ほか多岐にわたっています。

要介護者の見守り活動は安心マップを作り自治会と共有し、小津小学校5年生とは各地区を回り危険力所等の安全・安心マップを作り子ども達と共にしています。ふれあいと福祉の心を育てる集いでは運営に中心的な役目を担い地域に寄添う密着型活動をしています。

玉津学区



民児協と福祉協力員の合同研修

民生委員・児童委員と福祉協力員の合同研修を草津市志津南学区社会福祉協議会「ふれあいハウス絆」で『絆の喫茶運営』『広報誌絆だより』『民児協活動』について研修しました。

住民の居場所として6年が経過し定着しているようです。喫茶運営では特にボランティアによる当番について、また、絆だよりの作成・発行についての説明を受けました。

コーヒーを飲みながら活発な意見交換をして、和やかな雰囲気で研修を終了しました。

中洲学区



「中洲おたがいさん大作戦」の核として

第2次福祉のまちづくり推進活動計画にある「しあわせなまちづくり計画」に基づき、住民みんなで何事も関わりあって進めるべく民生委員・児童委員がともに手を取り合って様々な活動を展開しています。

特に、「中洲おたがいさん大作戦」を進めるにあたっては、作戦会議のたびに特色ある取り組みができるよう提案の核となる建設的な意見を出すことに努めています。

主任児童委員会



児童福祉を中心に

主任児童委員は、各学区に2~3名委嘱されており、主に子どもの福祉に取り組んでいます。主な活動は、毎月の定例会で市関係課と情報交換したり、学校・園訪問により情報共有したりしながら継続的な子どもの見守りを行っています。また、赤ちゃん訪問事業の実施、「ほほえみセンター」への支援や子ども食堂への参加協力、各学区でも民生委員・児童委員とサロンやそれぞの事業に取り組み、地域の子どもと子育て家庭を見守っています。

南部地区地域包括支援センター開所について

平成31年4月1日より、南部地区地域包括支援センターを設置します。対象学区は守山学区、小津学区です。高齢者の皆様の健康づくりや、介護予防、介護に関する相談などを身近な地域でお受けすることができます。

受託業者は社会福祉法人慈恵会となりました。現在事務所などを準備中で、電話番号等は決まり次第お知らせします。

北部地区地域包括支援センターに引き続き、南部地区地域包括支援センターも宜しくお願ひいたします。

守山市行方不明高齢者SOSネットワークの仕組み

★守山市では、行方不明高齢者の捜索に協力する行方不明高齢者SOSネットワークがあります。

★地域の皆様も守山市が配信する安全・安心メールに登録するなど、出来る範囲で見守りをお願いします。

行方不明が発生した場合、家族の同意を得て、SOSネットワーク協力事業所へ向けて、**情報提供を行います**（メール／FAX）。*「守山市安全・安心メール」でも配信します。

ネットワークの流れ

ご家族・関係者

自治会等

①ネットワーク利用希望確認
(自治会への協力要請)

協力関係機関

バス・鉄道・タクシー、郵便局、有線放送、コンビニエンスストア、大型スーパー、認知症みまもーりー隊員 等

市役所

情報配信
連絡

地域包括支援センター
TEL : 581-0330
北部地区地域包括支援センター
TEL : 516-4160
南部地区地域包括支援センター
TEL : 未定
危機管理課 TEL : 582-1119
夜間・土日祝日の連絡先
市役所(日直) TEL : 583-2525

①警察への行方不明者届提出

警察も協力します

守山警察署 (110番)

②検索開始



②安全・安心メール配信
(市民への発見・保護協力)

編集後記

昨年の夏はいまだ経験したことのない災害が起り、被害に遭われた皆様には心よりお見舞い申し上げます。

平成がまもなく終わり、日本にも新しい時代がやってきます。民生委員・児童委員は地域で☆通学路の見守り☆地域のきずな☆子育ての支援☆体験活動☆研修会の実施など、「支えあう 住みよい社会 地域から」を目指し日々活動をしていきます。（藤本武司 記）